

第 19 回 固体飛跡検出器研究会 プログラム

日時 2004 年 (平成 16 年) 3 月 11 日 (木) 13 : 00 ~ 17 : 20、12 日 (金) 10 : 00 ~ 15 : 30
場所 近畿大学本部キャンパス 11 月ホール三階小ホール(東大阪市)

3 月 11 日(木)

13 : 00-13 : 10 開会の挨拶 鶴田隆雄

【セッション 1】 (座長 : 小田啓二)

- (1) 13 : 10-13 : 40 「固体飛跡検出器の諸特性」
小倉紘一 (日本大学生産工学部) (30 分)
- (2) 13 : 40-14 : 00 「フィッシュントラック法の保障措置環境試料分析への応用 - その 2 - 」
井口一成 (日本原子力研究所 (東海研) 環境科学研究部) (20 分)
- (3) 14 : 00-14 : 20 「DAP ディテクターを用いたフィッシュン・トラック年代測定
- ゼータ年代較正 - 」 檀原徹 (京都フィッシュン・トラック) (20 分)
- (4) 14 : 20-14 : 40 「DAP ディテクターを用いたフィッシュン・トラック年代測定
- 絶対年代較正法 - 」 岩野英樹 (京都フィッシュン・トラック) (20 分)
- (5) 14 : 40-15 : 00 「ウラン・アルファ標準線源を用いた ^{238}U 自発核分裂壊変定数の測定
- 実験と途中経過 - 」 吉岡哲 (京都フィッシュン・トラック, 近畿大学
大学院総合理工学研究科) (20 分)

15 : 00-15 : 30 休憩

【セッション 2】 (座長 : 小倉紘一)

- (6) 15 : 30-16 : 00 「広領域画像高速取得顕微鏡の CR-39 解析への応用」
安田仲宏 (放射線医学総合研究所) (30 分)
- (7) 16 : 00-16 : 20 「各種重粒子を用いた枯草菌胞子の生物効果」
夏目敏行 (立教大学理学部) (20 分)
- (8) 16 : 20-16 : 40 「高エネルギー中性子用積算型個人線量計の開発 - ラジエータ効果の
検討 - 」 今坂雄一 (神戸大学海事科学部) (20 分)
- (9) 16 : 40-17 : 00 「CR-39 中イオントラックに沿った二酸化炭素生成」
山内知也 (神戸大学海事科学部) (20 分)
- (10) 17 : 00-17 : 20 「CR-39 とルミネセンス線量計を用いた宇宙放射線線量計測法の研究」
岩淵真也 (東邦大学理学部) (20 分)

18 : 00-20 : 00 懇親会 (近畿大原子力研究所 原子炉施設管理棟)

3月12日(金)

09:00-09:30 近畿大学原子炉見学会(原子炉施設管理棟玄関に集合)

【セッション3】(座長:藤井正美)

- (11) 10:00-10:20 「共重合樹脂の飛跡生成感度に関する研究」
郡佳伸・猪井宏幸(近畿大学工学部)(20分)
- (12) 10:20-10:40 「CR-39の低エネルギーイオンビーム応答」
石川一平(大阪大学大学院工学研究科)(20分)
- (13) 10:40-11:00 「固体飛跡検出器と過熱液滴型検出器の粒子検出閾値の比較と検討」
澤村晃子(北海道大大学院工学研究科)(20分)

11:00-11:20 休憩

【セッション4】(座長:澤村晃子)

- (14) 11:20-11:50 「速中性子が発生する二次重荷電粒子のLET分布測定」
俵裕子(高エネルギー加速器研究機構)(30分)
- (15) 11:50-12:20 「受動積算型線量計を用いたISSロシアサービスモジュール内の
宇宙放射線測定」 永松愛子(宇宙航空研究開発機構)(30分)

12:20-13:30 昼食・休憩

【セッション5】(座長:俵裕子)

- (16) 13:30-13:50 「CR-39飛跡検出器を用いた鉄核に対する質量分解能の評価」
小平聡(早稲田大学理工学総合研究センター)(20分)
- (17) 13:50-14:10 「CR-39を用いた細胞照射用マイクロビームの測定」
松本健一(東邦大学大学院 理学研究科)(20分)
- (18) 14:10-14:30 「治療用重粒子のCR-39による核フラグメンテーション計測」
並木佳世子(東邦大学大学院 理学研究科)(20分)

【セッション6】(座長:安田仲宏)

- (19) 14:30-14:50 「ロール状に巻いた市販カラーフィルムを用いた飛跡検出」
久下謙一(千葉大学工学部 情報画像工学科)(20分)
- (20) 14:50-15:10 「抗酸化剤添加CR-39の荷電粒子に対する諸特性」
小口靖弘(千代田テクノル)(20分)
- (21) 15:10-15:30 「生分解性プラスチックによる飛跡検出の可能性」
藤井正美(青森大学工学部)(20分)